令和4年度 自己評価結果

学校法人 明倫幼稚園 めいりんこども園

1. 本園の教育保育目標

1健康な体をつくる。

2社会生活の良い習慣や態度を身につける。

- 3自主的な態度を育てる。
- 4のびのびした表現を育て創造性をのばす。 5豊かな情操を育てる。

幼児の心身ともに健全な成長発達のために適切な環境を用意し、集団生活を通して個々の幼児の自主性を育て、豊かな心情、良き生活習慣や人間関係に向かう意欲、態度を培う。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

本園の教育目標を職員全体で共通理解を図り、教育保育の質を高める。 健康、安全な園生活を送れるよう工夫して環境つくりに努め、多くの体験を重ねて 豊かな育ちにつなげる。

3. 評価項目の達成及び取組み状況

評価項目	取組み状況
教職員間のコミュニケーションを 深め、教育保育の向上につなげ ていく	・両園舎間を問わず、教職員間のコミュニケーションを深めるよう個々が意識を持って関わるように努める ・コミュニケーションの深まりがより良い形で日常の保育教育に生かされるように努める ・認定こども園教育保育要領を確認しながら、現実の保育に添わせるように、様々な形態、メンバーでの研修を行っている ・右脳教育をはじめとする、本園独自の教育課程の確認と見直しを進めている
安全・衛生管理に努め、園児・保護者・職員が笑顔で安心して生活できるようにする	・新型コロナウィルスをはじめとする感染症防止に取り組むとともに、健康に園生活が送れるよう環境整備に努める ・挨拶をはじめ、顔を合わせて言葉を交わすことを大切にしている

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

それぞれが自己評価したことを情報共有し、また、感染対策をしながら子どもたちのより良い教育保育活動を行うにあたっての取り組むべき課題を明確にすることができ、広い視野をもって活動に取り組んだ。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取組み方法
安全•衛生管理	・防災、防犯の意識を高め、不測の事態に備える。 ・感染症対策に努め、健康衛生管理をしっかりと行う。
教育・保育の質の向 上	・園内研修の充実を図る。短時間、少人数でのミニ研修を重ね、職員間のコミュニケーションを深め、情報を共有することで保育教育の向上につなげる ・なんでも言い合える環境づくり
人材確保	・手厚く、質の高い保育教育を進めるために、新たな人材の確保に 努める ・養成校への挨拶まわりと求人票の早期発送 ・ホームページ、Instagram を通して、学生の目につく情報発信

6. 学校関係者の評価

昨年に引き続き、コロナウィルスの影響が色濃く残る中、安全で安心な園運営を続けていくことに努力されていることが伺えます。定員を超えるほどの入園希望があり、安定した園児数を確保されていることは、園長はじめ教職員の先生方が力を合わせて、子どもたちのために努力いただいています。今後も健康に留意され、園児の笑顔がたくさん見られる、保護者に信頼される園づくりに邁進されることを願います。

7. 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。

昨年度に引き続き、コロナ等の感染症対応に関する安全衛生面での支出や、光熱費や給食食材費の高騰による支出、手厚い保育をしていくための職員数の増加による人件費が多くなったが事業活動収入も増収だったので、施設整備を充実することが出来た。